

学校支援(プール見守り)ボランティアのインタビュー紹介

毎年、水泳授業として小学校よりボランティア（プール見守り）の依頼があります。当支援センターでは、登録ボランティアや近畿大学医学部学生、帝塚山学院大学ボランティア部と連携して支援をしています。

今年は6月18日（月）～7月13日（金）（延22日間）に7名の方が南第2学校、北小学校で活動していただきました。

南第2小学校では、42回の依頼に対し、42回を7名の方で対応、北小学校では10回の要請に対し、1名の方で10回対応していただきました。

（ご紹介はお名前の50音順）

子どもたちにボランティアの紹介がほしかった！（岡本さん）

学校支援活動（プール）をして今年で3年目になります。

昨年度は2つの小学校に行きましたので、今年も応募しました。

学校支援以外にボランティア活動として「ディサービス」でパソコンやスマホの指導を行っています。



プール見守りでは1年生・2年生でしたので、みんな元気いっぱい、わたしの孫と同じなので一層親しみを感じました。ただ、残念なのは、最初プールに入って見守りをすると聞いていたのですが、プールに行けば担当の先生からはその話がなかったもので、プールサイドのタイルが熱いので水撒きをしたりしていました。

できれば最初に、児童の皆さんに何のために来ているかという目的と紹介をしてほしかったです。

無事に2日間を終えることが出来ました。楽しかったです。ありがとうございました。

子どもと一緒にいると元気がでる！（武市さん）

今、わたしはプールに通っています。今回の学校支援プール見守りの募集を見て、すぐに参加することを決めました。

泳ぎに少し自信があったのと、子どもが大好きであることです。

プールボランティアは初めての経験ですが、8年前から北小学校で週1回、こどもたちと楽しく活動をしています。そこでは多くの子どもたちが体育館で“クラフト”づくりやドッジ

ボールなどの運動を通じてのボランティア活動です。

子どもと接する時、心掛けていることは、やさしく接することです。このプールでも子どもから話しかけてくれることが多く、わたしも気持ちがさわやかな気持ちになりました。

感謝しています。

また、機会があれば参加したいです。ありがとうございました。



初めてのボランティア経験であったが、自分の経験が活かせた！（田中さん）

わたしは長年学生時代から相撲に取り組んできて、現役を退いた後大学で監督として学生に指導を行ってきました。小学生から相撲に取り組む姿勢は指導により大きく変わります。勿論、指導の仕方は小学生と大学生とは違いますが、愛情を持って育てることが大切です。今回、小学校プール見守りのボランティア募集を見て、子どもが好きであるのと初めて体験する新鮮さもあり、応募しました。



最初学校に行ったときは、具的な説明がなくプールのある場所に案内されました。

3人の先生方がそれぞれの役割分担で行われていましたが、1人の先生がプールの中にあるゴミを網で捕る作業をするところだったので“わたしもやりましょう”と一緒にゴミ掃除を行いました。次に低学年で泳げない児童に「ビート板」を使い、泳ぎの指導しておられる先生を見て、先生の承認

を得て「ビート板」の紐を引っ張りながら指導を行いました。楽しい時間でした。

自分と先生の行っている方向性や動作をみて、先生とのマッチング的なことを確認しながら自分流の役割をつくり、無事3日間の活動が終えることができました。

これからもわたしに出来ることがあれば、挑戦したいと思います。今回はいい体験になりました。ありがとうございました。

そこに喜びを見ることが出来るからボランティアができる！（中井さん）

わたしがボランティア活動を始めたのは10年前だと思います。

東京にいた頃、全国組織の清掃活動に友人に誘われて参加しました。

清掃活動では、最初にオリエンテーションがあり、初めての参加でも道具の使い方や時間内

の中で何をするのか明確に伝えられていました。東北地震の清掃ボランティアなどにも参加しました。被災者や地元の関係者の方々に接し、喜んでいただけることがとてもやりがいになりました。

学校支援（プール見守り）は今年で3年目になります。1年目に行った小学校の校長先生が転校されたのですが、市民活動支援センターを通じて、異動先の小学校にも是非来てほしいと言っただき、とてもうれしい気持ちになりました。学校に行くと校長先生が他の先生方に紹介をして頂きました。プールでも担当の先生が児童に紹介してくれました。児童からすれば、誰が何のために来ているのか不審に思うことがあると思いますので、ご紹介いただいたことはありがたかったです。



私の担当は主に1年生・2年生の児童でした。子どもが大好き人間ですから、時間を忘れ楽しみながら子どもの見守りを行いました。次年度も機会があれば、参加したいと思います。ありがとうございました。

自分の名前を呼んでくれてうれしかった！（浜浦さん）

今、私は大学1年生です。大学のクラブは「ボランティア部」に所属しています。ボランティア募集紹介で「学校支援プール見守り」の説明がありました。毎週木曜日は授業がないことや学校関係のボランティア活動経験がなかったので、応募しました。

ボランティア活動は熊本地震の災害ボランティアを体験しています。大変だけどみんなが笑顔になれることが楽しみです。今回のプール見守りで、嬉しかったことは、主に1年生・2年生だったのですが、名前を聞かれたので、“浜浦です”と答えました。次に会った時、私の名前を呼んでくれたので、うれしかったです。まさか、憶えてくれているなんて考えてもいませんでした。“ええ、憶えてくれてるんだ”という感じでした。何かうれしくて、“来てよかった”と思いました。

これからの活動はわかりませんが、機会があれば参加したいと思います。



積極的に先生や子どもたちに声をかけた！（向浦さん）



今、私は大学3年生です。昨年、ある団体のイベントで“キャンドルサービス”のボランティア活動に参加しました。それが楽しく感じたので、大学のボランティア部に入部しました。

今回、ボランティア部の説明会で学校支援プール見守りの話を聞き、このようなボランティアがあることを知り、応募しました。

学生同士と話をすることが多いですが、子どもたちと話をすることはあまりありません。今回、8日間小学校に通い、1年生から6年生まですべての学年の子

どもたちを接することができ、良い経験になりました。日頃、私は自分から誰に対しても話しかけるように心がけています。お陰で、先生や子どもたちと良い会話が出来ました。ありがとうございました。

応援したい気持ちになりました！（山上さん）

わたしは、主に音楽関係でボランティア活動に参加しています。

昨年度もこの学校支援（プール見守り）に参加したこともあり、今年度も参加しました。

子どもたちはプールで「ビート板」を利用して、足・手を使い練習を重ねていくうちにだんだんと上達していく姿を見て、応援したくなる気持ちに溢れてきました。

ただ、昨年度は他の小学校でしたが、子どもたちに紹介をして頂いたのですが、今回はなかった。

子どもたちが聞いてくるので、何度も名前を言わなければならなかったのが残念でした。機会があれば、来年も子どもたちと触れ合いたいと思います。ありがとうございました。



【お断り】インタビューに添付の写真はイメージです。

HOME